

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策において、訓練時に地域住民の参加がないのが現状である。今後、自治会との協力関係を築き、共同訓練などを通して、災害時に協力して頂ける様な取り組みを考えていく	消防訓練時に、地域住民への参加を呼びかける。ニチイまつり等を通して、ホームの中の様子を知って頂き、馴染みの関係を築いていく。	運営推進会議を通して自治会との関係を深めていき、災害時に協力していただける様に組み込んでいく。	12ヶ月
2	49	ホーム全体での外出は企画しているが、外出に関して1人ひとりの希望を把握して、外出の支援をすることが少なかった。	家族様との連携を深めていき、出来るだけ本人の希望を把握して外出の支援をしていく。	現在2名のご利用者様が、家族様の協力の元で自費サービスを利用され外出されたり、家に短時間戻って過ごされている。その他のご利用者様の希望を把握して、希望を実現できるように家族様とも連携をとりながら支援していく。	12ヶ月
3	52	供用空間(玄関、リビング、廊下など)に入居者の方が作った手作りの飾りつけが少なかった。	季節や行事に合わせて、ご利用者様と一緒に考えながら作る楽しみや喜びを味わっていただく。	絵馬や、おひとりお一人のカレンダー作り等に取り組んでいく。ニチイデイサービスが近所にある為、連携をとりながら学び、楽しんでいただけるように努めていく。	12ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けたケアのあり方や対応、職員における精神的フォローを再度検討していく。	会社の方針に合わせ勉強会を重ねていく。	現在看取りはしていないが、主治医の先生や家族様との連携をしっかりと取り組んでいく。職員みんなでケアの方針を共有していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。